

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学薬品等の名称 (製品名): 水性コンクリート用化粧剤 NURUCON
(ホワイト・グレー・ブラック・サンド・ブリック)

会社名: 株式会社タイハク資材事業本部

住所: 宮城県黒川郡大和町鶴巣太平字真山8

開発担当部門: 管理開発課 担当: 湯村

お問合せ全般: 営業課 担当: 佐々木

電話番号: 022-343-3766 (資材事業本部) 022-281-0420 (代表)

担当メールアドレス: info@nurucon.jp

推奨用途及び使用上の制限: コンクリートの化粧仕上げ用として使用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	【区分外】	
健康に対する有害性	【分類できない】	・眼に対する重篤な損傷性・長期または反復曝露による臓器の障害 ・発がん性・皮膚感作性
環境に対する有害性	【分類できない】	・水生環境有害性 短期 (急性)
GHS ラベル要素	絵表示	
注意喚起語		危険
危険有害性情報		・眼に対する重篤な損傷性 ・水生生物に有害
注意書き	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前にラベル表記事項を確認する事 ・最新情報を WEB サイトにて確認する事 ・すべての安全注意を理解するまで取り扱わない事 ・保護具は必ず準備し、保護メガネ・保護手袋・マスクは必ず着用 ・肌に溶液が直接つかない服装で作業を行う事 ・靴、洋服に一旦付着すると取れなくなるので注意する事 ・室内で使用する場合は換気を行う事 ・ミストを吸入しない事 ・容器は密閉して保管する事 ・環境への放出を避ける事 ・廃棄は専門の産廃処理業者に依頼する事
	応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・目に入った場合は大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける事 ・飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受ける事 ・皮膚に付着した場合は乾燥する前に水で洗い流し、皮膚に異常を感じた場合は医師の診察を受ける事 ・施工中に体調不良等が発生した場合、作業を中止する事
	保管	<ul style="list-style-type: none"> ・氷点下にならず、直射日光が当たらない場所で保管する ・密閉して保管する ・子供が手に出来ない場所に保管する
	廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・国、地方自治体の規則に従って産業廃棄物として処理する事。
	他の危険有害性	<ul style="list-style-type: none"> ・水道、井戸などの飲料水や工業用水、農業用水等の水が直接触れる箇所のコンクリートに使用する場合は、事前に品質確認試験を行う事 ・ヌルコンを施工した箇所は、完全に乾燥するまで生コンクリートと同レベルのアルカリ性を保持します。施工後すぐに雨などが降って水分が供給された場合、それらの水分がアルカリ性になる可能性があるので注意する事

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

名前	濃度 (範囲)%	化学式・成分名	化審法番号	CAS 番号
ポルトランドセメント水和物	2.0~8.0	ケイ酸カルシウム アルミン酸カルシウム 鉄アルミン酸カルシウム 硫酸カルシウム	1-194 9-2408 — 1-193	12168-85-3 12042-78-3 — 7778-18-9
酢酸ビニルエステル	< 1	CH ₂ =CHOCOCH ₃	(2)-728	108-05-4
シリカゲル	< 0.1	SiO ₂ ・nH ₂ O	7631-86-9	(1)-548
酸化チタン	3.0~6.0	TiO ₂	1-558	13463-67-7
ジエタノールアミン	< 0.1	C ₄ H ₁₁ NO ₂	(2)-302、(2)-354	111-42-2
アジピン酸ジヒドРАЗド	< 0.1	—	(2)-865	1071-93-8
酸化ジルコニウム	< 0.1	O ₂ Zr	1-563	1314-23-4

4. 応急処置

吸入した場合	・気分が悪い時は、空気がきれいな場所で安静にし、症状が続く場合は医師の診断を受ける事
皮膚に付着した場合	・紙、布等ですぐにふき取る ・大量の水で洗い流す ・石鹸等も使用する ・異常を感じた場合は医師の診断を受ける
眼に入った場合	・すぐに水道水または清潔な水（飲料水）で15分以上洗う ・コンタクトレンズを付けている場合ははずし、廃棄する ・まぶたの裏、まつげ等、眼の周辺全体も洗う ・眼の洗浄後、すみやかに医師の診断を受ける事
飲み込んだ場合	・水を口ですすぎ、直ちに医師の診断を受ける事 ・気を失っている場合は医師の指示を仰ぐ事
遅発性症状の最も重要な徴候症状	・情報なし
応急処置をする者の保護	・救助者は、状況に応じて適切な保護具（メガネ、手袋、マスク等）を着用する

5. 火災時の処置

適切な消火剤	・水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する
消火方法	・この溶液自体に可燃性は無い

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急処置	・関係者以外の立ち入りを禁止する ・作業者は適切な保護具（メガネ、手袋、マスク等）を着用する
環境に対する注意事項	・周辺環境に影響を与えないよう、環境中（下水、河川等）への流出を避ける
封じ込め及び浄化の方法及び機材	・ウェス、紙、タオル、砂等を使用し、溶液を吸収させる ・大量の場合は盛土等で流出を防ぐ ・水での洗浄は環境汚染を引き起こす可能性があるため注意する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	・作業前に保護具（メガネ、手袋、マスク等）を着用する ・溶液は良くかき混ぜてから使用する ・容器はその都度密閉する ・作業は換気の良い場所で行う ・水性塗料または生コンクリートにアレルギー症状がある方は取り扱わない事 ・使用したローラーや刷毛は使い捨てとし、洗浄水やあまった溶液を排水口や河川に流さない事
保管	・氷点下の温度になる可能性がある場所に保管しない（凍結した溶液は使用不可） ・直射日光を避ける ・高温になる場所に保管しない（容器が破裂する可能性）

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	・ 情報なし
設備対策	・ 屋内にて作業を行う場合は、作業者が直接曝露されない状態 もしくは曝露されない為の設備を使用する ・ ローラー及び刷毛塗りを原則とする
保護具	・ 呼吸用保護具 保護マスクや呼吸用保護具を着用する ・ 手の保護具 保護手袋を着用する。軍手等の溶液がしみこみやすい手袋は、なるべく使用しない 使用する場合は、作業後に手が汚れていなくても、必ず石鹸を使用して手を洗う ・ 眼の保護具 保護メガネやゴーグルを着用する。手を洗うまで顔や眼の周りを触れない事 ・ 皮膚及び身体の保護具 長袖の作業着や作業ズボン等の、皮膚が直接ばく露されないタイプの保護具を着用する

9. 物理的及び化学的性質

外観	液体
臭い	塗料臭
臭いの閾値	情報なし
pH	12.5 ± 1.0
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
密度	2Lタイプ：1.02±0.02 15Lタイプ：1.05±0.02 (20°C)
溶解度	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、科学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光が当たらず氷点下にならない場所に保管
混合危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

製品の有害性情報	情報なし
成分の有害性情報	急性毒性： データ不足のため分類できない。溶液はアルカリ性 (pH12.5±1) の為、皮膚腐食性および眼の角膜に炎症を起こす可能性がある 生殖細胞変異原性： データ不足のため分類できない 発がん性： データ不足のため分類できない 生殖毒性： データ不足のため分類できない 特定標的臓器毒性： データ不足のため分類できない (単回ばく露) 特定標的臓器毒性： データ不足のため分類できない (反復ばく露) 吸引力呼吸器有害性： データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報	・ 情報なし 漏洩、廃棄等の際は環境に影響を与える可能性があるので注意する。洗浄水も排水口等には流さず適切に処理する事
-----------	--

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規制並びに地方自治体の基準に従う事 許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する事
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う事

14. 輸送上の注意

国際規制	国連分類	クラス9
	国連番号	UN3082
国内規制	陸上輸送	輸送車に容器イエローカードを交付する 消防法、道路法に従う事
	海上輸送	船舶安全法に従う事
	航空輸送	航空法に従う事
	特別の安全対策	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れの内容に積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う

15. 適用法令

労働安全衛生法	57条 表示等
労働安全衛生法	57条の2 文書の交付等

16. その他の情報

参考文献	NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP) NITE GHS 分類結果一覧 (2021) 厚生労働書 職場のあんぜんサイト
注意事項	本 SDS は、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報より作成しておりますが、必ずしも十分ではない可能性がございますので、取り扱いにはご注意ください。記載の一切のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、指定された用途以外には使用しないでください。最新の SDS に関しては、販売ルートを通してご請求するか、弊社ホームページをご確認ください。